

# いこいこい

第10号

平成20年4月  
発行：依田窪老人保健施設  
広報編集委員会  
〒386-0603  
小県郡長和町古町 3365-5  
TEL：0268-68-0281  
FAX：0268-68-0283

支援相談員は

## 老健「いこい」の窓口です

お気軽にご相談ください。



支援相談員の小林正国です。  
何でもご相談ください。  
電話：68-0281

新年度を迎え依田窪老人保健施設いこいにも新しい風が入りました。また、広報紙「いこい」も、多くの皆様にご愛読いただきありがとうございます。

支援相談員という職種とは？とよく聞かれる機会があり、今回は支援相談員の「業務」「役割」についてご紹介させていただきます。

### □ 入所申し込み

現在、老健いこいは「入所」・「短期入所」・「通所リハビリ」・「訪問リハビリ」の事業を実施しており、その相談窓口が、支援相談員であり、ご家族や介護支援専門員から、利用についての相談が寄せられています。

申し込み時には、老人保健施設の特徴であり、「在宅復帰支援施設」という役割と利用方法をご説明し、利用目的・入所希望期間・退所後の方向性を必ず確認するようにしています。

### □ 入所判定会議

入所を希望される方には、入所判定会議という入所の可否を問う会議があり、そこで相談員は会議資料の作成、司会進行を勤めています。入所後はご利用者・ご家族の方が安心、安全な療養生活が送れるよう他職種との連携を図っています。

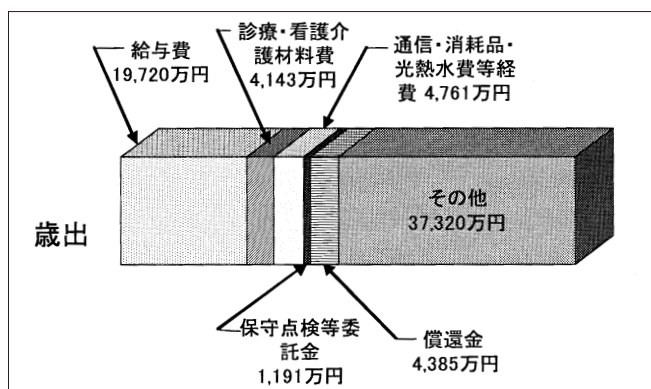
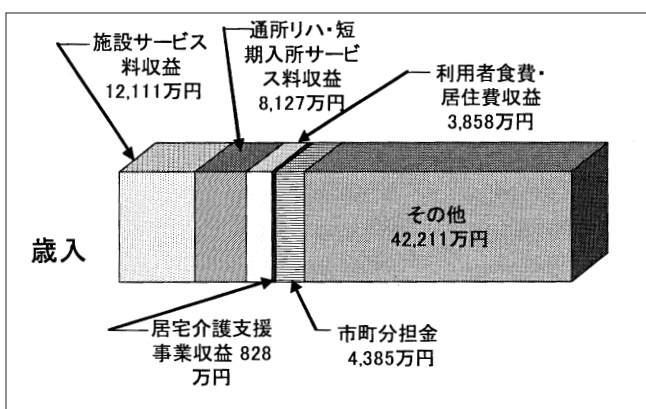
### □ 在宅復帰への支援

相談員は、入所段階から在宅復帰に向けてご家族にアプローチを行い、在宅への受け入れ準備をお願いしています。そのためにご家族の家庭環境を把握し、各専門スタッフと在宅復帰に向けての問題解決するため定期的に検討会議を開き、その結果を踏まえ、介護支援専門員と協力して、利用者・ご家族の負担を配慮しつつ、意向を取り入れた計画・支援をしています。また、在宅復帰後にサービスが

平成20年度の予算は  
7億1千520万円になりました。

3月18日、依田窪医療福祉事務組合3  
月定例会が開かれました。  
老健いこいの関係では、平成20年度

特別会計予算案や設置条例の一部改正などが審議され可決されました。  
平成20年度予算は、増設工事関係費用が含まれるため、前年度の2.3倍、過去最高の予算規模となりました。



依田窪介護老人保健施設設置条例の一部改正

区分	現行	改正後
居住費(個室料)	日額 1,310円	日額 1,640円
日用品費	実費	入所 } 日額 短期入所 } 100円 通所リハビリ } 50円
教養娯楽費	-	実費(作業材料費等)
電気器具使用料	日額(1器当り)105円	→削除

望にお応えできない部分もごさいますが、増床後は、さらに多くの方々にご利用いただけるよう調整をしていきたいと思っております。

### □ 地域との信頼関係

支援相談員は、老健「いこい」の窓口として、今年度のいこいテーマであります「和の精神」を持って、ご利用者・ご家族・他職種・他機関との信頼関係を築き、市町村との連携を密にし、老健「いこい」が地域に開かれた施設としての機能を充実させ、より多くの皆様にご利用いただけるよう、相談員として努力して行きたいと思っております。



委員会の紹介④  
「身体拘束廃止委員会」

身体拘束とは、転落をしないように車椅子やベッドに身体を縛ったり、自分で降りられないようにベッドを柵で囲んだりするような事をいいます。それは自由を奪ってしまう事でもあります。身体拘束をすると、筋力が低下したり、無理な動きによるケガなどの身体的なことや、不安や怒りなどの精神的な弊害が起ります。いこいでは、「身体拘束しない取り組み」をおこなっています。施設内に「身体拘束ゼロ」の説明を掲示し、ご利用時には、ご家族に説明を行い理解いただいております。身体拘束をしないということは自由が増えますが、反面それは転倒や転落等の危険が増える事でもあります。そのような事が起こることが無いよう、一人ひとりを理解し、その方に合ったケアの推進に日々取り組んでいます。行動の一つ一つには理由がありその理由を理解していく事により、身体拘束はなくなっていくます。

これからも身体拘束をしないケアをしていきます。そのためには、ご利用者・ご家族のご理解、ご協力も必要になりますのでよろしくお願ひします。ご利用時に身体拘束についてわからない事がありましたら身体拘束廃止委員に一声おかけください。

(身体拘束廃止委員 飯塚 稔)



ふ  
れ  
あ  
い

新年会 (1月20日実施)

今年の新年会では、餅つきを行いました。ボランティアグループあゆみ会のご協力をいただき、皆さんの一年の健康を祈りながら餅をつき、おいしくいただきました。

節分 (2月2日実施)

「鬼は外。福は内。」鬼にふんした職員に豆を投げながら、大きな声がいこいに

響きました。皆さんの厄払いもでき、楽しい節分となりました。

ひな祭り (3月2日実施)

3月2日、いこいでは「ひな祭り」を行いました。昼食には、ちらし寿司などの料理にご利用者の皆さんと舌鼓を打ちました。

午後2時から、合奏や「古城」の踊りなど職員が披露し、短い時間でしたがご利用者の皆さんと楽しく過ごすことができました。

福寿草のお花見 (3月29日実施)

通所リハビリでは、春は名のみ肌寒

異動職員 庶務係長 山口穂積(病院医事課から)

4月からお世話になることになりました。年をとった新人ですが、気持ちはフレッシュでがんばりたいと思います。わからないこともたくさんありご迷惑をおかけすることもあるかとは思いますが、よろしくお願いします。



異動職員 理学療法士 木原美由紀(病院リハビリ科から)

今回、いこい配属となりました理学療法士の木原です。今までは、依田窪病院で働いていました。いこいでは、病院で学んだ知識を元に、各利用者様にもっとも必要なリハビリを提供できるよう、努力して行きたいと思ひます。



異動・新入職員の紹介 よろしくお願ひいたします。

新入職員 介護員 長岡明子

4月から、念願の介護福祉士として勤務することができ、大変うれしく思ひます。できるだけ早く仕事を覚え、ご利用者の方々が毎日楽しく過ごしていただけるようがんばりたいと思ひます。よろしくお願いします。



新入職員 介護員 渡邊知幸

私の新人としての抱負は、信頼関係を築き、ご利用者に安心していただけるような介助を目指して仕事をしたいと思ひます。そのために、日々一生懸命にがんばりますので、よろしくお願いします。



新入職員 介護員 藤岡真由美

お疲れ様です。新人の藤岡真由美です。高校卒業したての未熟者でご迷惑をおかけすると思ひますが、何卒よろしくお願いします。笑顔を決やさずがんばっていきます。ご利用者から好かれるような介護員になりたいです。



い日でありましたが、上田市武石唐沢地区の斜面一面に咲き誇った福寿草を見に行ってきました。春一番に咲くこの花から、元気をたくさんいただきました。



節分で鬼にふんした職員等(節分のひとコマ)この後、手荒い豆の洗礼にあいました。

お内裏様とお雛様にふんした職員と記念撮影「はい、チーズ」(ひな祭りのひとコマ)



★ 編集後記 ★  
今年度は、いよいよ増設工事が始まります。増設後は入所が50床から70床に、通所リハビリの定員が1日25人から40人に拡充となります。現在は工事の着工に向けて、準備を進めております。工事期間中ご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力くださいますようお願い申し上げます。(編集委員)